

名古屋港平面図



鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース 新規着手に関する要望書



要 望

中部圏の経済活動の発展につきまして、日ごろから格別のご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

名古屋港は、中部圏のものづくり産業を支えるスーパー中枢港湾として着実な発展を続け、総取扱貨物量、貿易額ともに全国第1位を記録するなど、我が国の経済・社会の発展に重要な役割を果たしています。

近年、企業のグローバル展開のさらなる進展を背景に、コンテナ貨物量が増加しており、特に中国を中心とする近海航路において、著しい伸びを示しています。

しかしながら、鍋田ふ頭地区においては、コンテナ貨物量の増加に対し、ターミナル施設の不足が顕在化し、コンテナ輸送需要に適切に対応していくことができない状況にあります。また、バース不足により、コンテナ船の慢性的な滞船（沖待ち）が生じており、荷主企業からも強く改善に向けた要望が寄せられています。

さらに、東南海地震などの大規模地震に備え、経済活動への影響を最小限に抑えるための耐震強化岸壁の整備も急務となっています。

つきましては、耐震強化機能を有する**鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バースの新規着手**について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

名古屋商工会議所会頭	岡 田 邦 彦
(社)中部経済連合会会長	川 口 文 夫
名古屋港運協会会長	伊 藤 正
愛 知 県 知 事	神 田 真 秋
名 古 屋 市 長	松 原 武 久
名古屋港管理組合管理者	
愛 知 県 知 事	神 田 真 秋